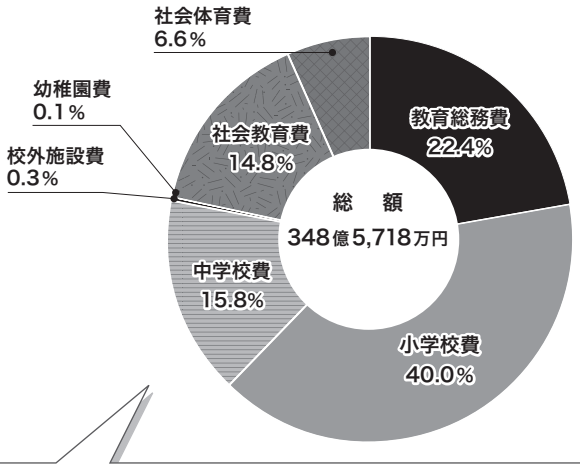
令和7年度　教育費予算の概要と主な事業

「かつしか教育プラン(2024～2028)」に基づき、より必要性の高い施策に予算を重点配分しています。詳しくは区公式ホームページをご覧ください。各事業の金額は100万円未満を四捨五入しています。

令和７年度当初予算　教育費の内訳（金額は千円単位を四捨五入）

	予算額	主な使い道
教育総務費	78億 1,477万円	教育委員会の運営、教育情報化、小中合築校舎等の建設など
小学校費	139億 5,959万円	小学校の管理運営、校舎の建て替え
中学校費	54億 9,452万円	中学校の管理運営、校舎の建て替え
校外施設費	1億　734万円	日光林間学園の管理運営
幼稚園費	1,869万円	区立幼稚園の管理運営
社会教育費	51億 4,730万円	生涯学習や青少年育成、図書館の運営など
社会体育費	23億 1,497万円	体育施設の管理運営など
合　計	348億 5,718万円	



令和７年度の教育費は、区の一般会計(2,573億6,000万円)のうち、13.5%を占めています。

学校施設の改築　(69億2,000万円)

通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を推進します。７年度は次の学校で引き続き改築を進めます。

水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校・東柴又小学校、東四つ木小学校・中川中学校、小松南小学校

快適な学校環境の整備　(4億8,100万円)

小学校６校にスロープを設置するほか、小学校２校・中学校１校に車椅子使用者用トイレを設置します。また、小学校９校、中学校７校において和便器の洋式化等を行います。

修学旅行費・一部副教材費等の無償化　(6億4,900万円)

詳しくは４・５ページで紹介しています。

総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～　(1億1,500万円)

詳しくは４・５ページで紹介しています。

かつしかグローバル人材育成事業　(2億4,600万円)

詳しくは４・５ページで紹介しています。

発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実　(2億700万円)

発達障害等のある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全区立小・中学校で実施するほか、「多層指導モデル(デジタル版ＭＩＭ)」を、全区立小学校で引き続き実施します。また、「クラス支援員」の配置時間を拡大するとともにデジタル教材を導入し、円滑な学校生活を送れる学習環境を整えます。さらに、子どもとの関わり方を学ぶ保護者向けの「ペアレントトレーニング」の定員を拡大します。

不登校対策プロジェクト　(1億1,400万円)

登校できない状況にある子どものため「ふれあいスクール明石」の受入対象を拡大します。また、登校はできるものの教室に入ることができない子どもを支援するための「校内サポートルーム」を小学校２校、中学校５校で新たに開設します。さらに、８年度に向けて、中学校５校の開設準備を行います。

学校施設等を活用した放課後子ども支援事業　(6億3,900万円)

水元小学校及び二上小学校内に学童保育クラブを整備します。また、「かつしかプラス」の実施校を４校から８校に拡大するとともに、夏季一時学童保育は２クラブで受入枠を拡大します。

障害者スポーツの推進　(900万円)

障害者スポーツ指導員の養成と発掘をするとともに、活動の場を提供します。また、東京2025デフリンピックを契機として、障害者スポーツの普及啓発イベントを実施します。

スケートボード場の整備　(2億6,600万円)

区民誰もが安心してスケートボードを楽しむことができる施設を小菅西公園内に整備します。また、都立水元公園内へのスケートボード場の整備に向けて、基本計画を策定します。

公共施設のトイレ環境整備の推進（5,800万円）

誰もが快適に過ごすことのできる環境を整備するため、奥戸総合スポーツセンター(温水プール館)、お花茶屋図書館及び水元図書館にてトイレ洋式化工事を行います。

教育総務課　☎03-5654-8449